

株主通信

November
2020

第164期中間期のご報告
(2020年4月1日～2020年9月30日)



世界的すきま発想。

 日本化薬

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第164期中間期(2020年4月1日～2020年9月30日)の概況をご報告申し上げます。

当中間期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた経済活動の抑制などの影響により、景気は減速傾向にありました。米国および欧州では3月以降、感染者の増加を受けて渡航制限や外出規制、店舗等の休業措置などにより経済活動が停滞し、景気が急速に悪化したものの、徐々に個人消費や企業収益などに持ち直しの動きがみられました。中国では経済活動の再開を受け、景気の回復傾向が続きました。日本経済は個人消費や企業収益などに持ち直しの動きがみられたものの、感染症の収束時期は見通せておらず、先行き不透明な状況にありました。

このような状況の中、当社グループは2019年度にスタートさせた中期事業計画“**KAYAKU Next Stage**”の重点テーマと中長期重点課題に取り組むとともに、企業活動が制限された状況下において時差勤務やテレワークなどの積極的な活用により、当社ならびに当社グループ会社に勤務する従業員の安全を確保しつつ、事業への影響を最小限に抑制すべく新しい生活様式を実践し、効率的な働き方を推進しました。

この結果、当中間期の連結売上高は、機能化学品事業および医薬事業が前年同期を上回ったものの、セイフティシステムズ事業が前年同期を下回ったことにより805億1千8百万円となり、前年同期に比べ50億8千9百万円(5.9%)減少しました。

営業利益は、69億7千6百万円となり、前年同期に比べ20億6千9百万円(22.9%)減少しました。

経常利益は、73億4千1百万円となり、前年同期に比べ18億7百万円(19.8%)減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、48億8千3百万円となり、前年同期に比べ14億5千4百万円(22.9%)減少しました。

中間配当金は、1株当たり15円とさせていただきます。

“**KAYAKU Next Stage**”では、2025年のありたい姿を設定し、それに到達するための重点テーマとして、「安全・品質管理体制の確立」、「研究開発の強化」、「知的付加価値の創造・提供」、「グローバル経営の推進」、「社内外との協業による事業強化」、「成長を支える経営基盤の充実」の課題に取り組んでおります。

機能化学品事業は、高速通信(5G)の普及拡大に向けた基板用高機能樹脂、デジタル印刷用途向けインクジェット用色素や高機能色素、

省エネ・省資源に貢献するアクリル酸やメタクリル酸製造用高収率触媒、車載用光学フィルムやX線分析装置用部材など、特徴ある製品の開発に取り組んでまいります。

医薬事業は、抗がん薬内包高分子ミセルの臨床試験を進めるとともに、バイオ新薬である「ポートラーザ®」の適正使用情報の提供による早期市場浸透や、抗体バイオシミラーである「トラスツマブ BS」や「インフリキシマブ BS」の更なる市場浸透、特徴あるジェネリック医薬品を含めたがん関連領域での製品ラインアップの拡充に取り組んでまいります。

セイフティシステムズ事業は、エアバッグ用インフレーターやシートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブ、歩行者保護ボンネット跳ね上げ装置用アクチュエータなどの新製品開発に努めるとともに、自動運転・電動化技術の進化に対応した安全部品の開発にも注力してまいります。

さらに、新型コロナウイルス感染症については、今後の変化する状況に的確かつ速やかに対応してまいります。

当社グループの企業ビジョンは、**KAYAKU spirit**「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」です。今後も、安全操業、コーポレートガバナンスやコンプライアンスの徹底、環境への配慮を重視し、高い倫理観をもった CSR(企業の社会的責任)経営を行い、持続可能な社会に貢献することによりすべてのステークホルダーの信頼にお応えしてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2020年11月



代表取締役社長

涌元厚宏

事業別の概況（連結）

【機能化学品事業】

売上高は348億5千万円となり、前年同期に比べ7億9百万円(2.1%)増加しました。

機能性材料事業は、自動車関連向けが減少したものの、高速通信(5G)デバイスやパソコンなどのIT機器の需要増加により、半導体封止用および基板用エポキシ樹脂が好調に推移し、前年同期を上回りました。

色素材料事業は、在宅勤務向けにコンシューマ用インクジェットプリンタ用色素が堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、産業用インクジェットプリンタ用色素、繊維用染料が低調に推移し、前年同期を下回りました。

触媒事業は国内、輸出ともに好調に推移し、前年同期を上回りました。

ポラテクノグループは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により染料系偏光フィルムなどの光学部材が低調に推移し、前年同期を下回りました。

【医薬事業】

売上高は251億3千4百万円となり、前年同期に比べ19億8百万円(8.2%)増加しました。

国内向け製剤は、前年同期から二度の薬価改定の影響を受けたものの、バイオシミラー、ジェネリック医薬品への切り替えが進み、特に抗体バイオシミラーの「トラスツズマブBS」、「インフリキシマブBS」の伸長と新製品の「アプレビタントカプセル」が寄与したことにより、前年同期を上回りました。

受託事業は前年同期を上回ったものの、輸出、診断薬は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により前年同期を下回りました。

【セイフティシステムズ事業】

売上高は169億8千9百万円となり、前年同期に比べ70億8千2百万円(29.4%)減少しました。

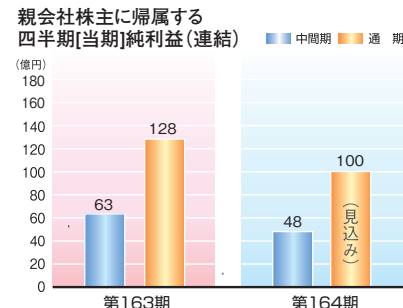
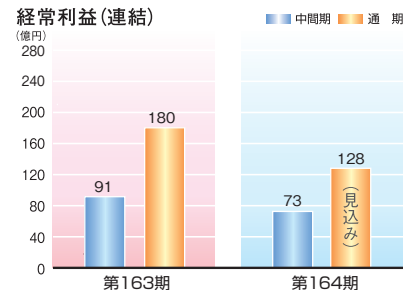
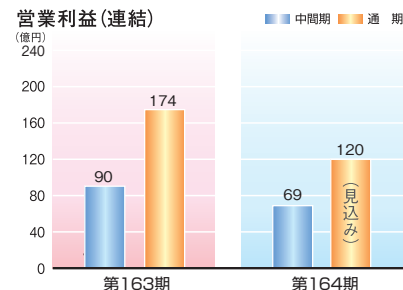
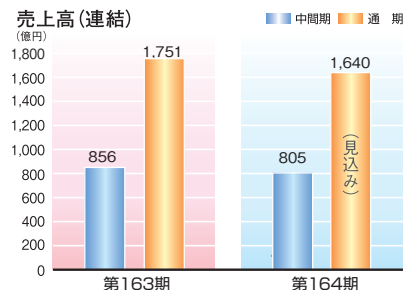
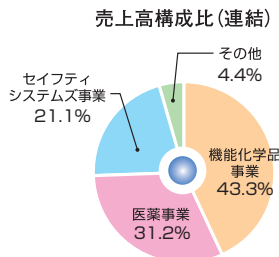
新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、中国を除く国内を含めた地域の自動車市場が低迷したことにより国内事業、海外事業ともにエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータおよびスクイブはともに前年同期を下回りました。

【その他】

売上高は35億4千4百万円となり、前年同期に比べ6億2千5百万円(15.0%)減少しました。

アグロ事業は国内、輸出ともに前年同期を下回りました。

不動産事業他は、前年同期を上回りました。



四半期連結財務諸表の概要

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日現在)	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2020年9月30日現在)	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	155,623	153,102	流動負債	45,796	38,800
固定資産	134,984	125,393	固定負債	29,325	29,676
有形固定資産	88,173	85,960	負債合計	75,121	68,477
無形固定資産	7,913	3,362	(純資産の部)		
投資その他の資産	38,897	36,071	株主資本	209,295	206,975
			資本金	14,932	14,932
			資本剰余金	15,757	15,757
			利益剰余金	186,477	184,156
			自己株式	△ 7,872	△ 7,871
			その他の包括利益累計額	5,517	2,369
			非支配株主持分	672	675
			純資産合計	215,485	210,019
資産合計	290,607	278,496	負債及び純資産合計	290,607	278,496

- 総資産は2,906億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ121億1千1百万円増加しました。主な増加は有価証券103億8千9百万円、投資有価証券27億9千2百万円、のれん23億4千4百万円であり、主な減少は現金及び預金54億1百万円、商品及び製品29億3千5百万円であります。
- 負債は751億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ66億4千4百万円増加しました。主な増加は短期借入金94億6千2百万円であり、主な減少は未払法人税等20億1千8百万円であります。
- 純資産は2,154億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億6千6百万円増加しました。主な増加は利益剰余金23億2千1百万円（配当金の支払により25億6千1百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益により48億8千3百万円増加）、その他有価証券評価差額金19億3千6百万円であります。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前年同四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	80,518	85,608
売上原価	54,537	56,325
売上総利益	25,981	29,282
販売費及び一般管理費	19,004	20,236
営業利益	6,976	9,045
営業外収益	1,102	1,147
営業外費用	737	1,044
経常利益	7,341	9,149
特別利益	0	33
特別損失	232	341
税金等調整前四半期純利益	7,108	8,840
法人税等	2,226	2,438
四半期純利益	4,882	6,402
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 0	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,883	6,337

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	前年同四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,879	15,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,762	△ 10,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,677	△ 5,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	281	△ 1,528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,076	△ 1,400
現金及び現金同等物の期首残高	46,663	52,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,739	51,297

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、118億7千9百万円の収入（前年同四半期は157億4千6百万円の収入）となりました。これは主に法人税等の支払額が31億7千2百万円、仕入債務の減少額が11億8千7百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が71億8百万円、減価償却費が60億1千9百万円、たな卸資産の減少額が29億3千2百万円あったことによるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、127億6千2百万円の支出（前年同四半期は104億5千万円の支出）となりました。これは主に事業譲受による支出が62億2千8百万円、有形固定資産の取得による支出が60億1百万円あったことによるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、56億7千7百万円の収入（前年同四半期は51億6千7百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額が25億5千6百万円、長期借入金返済による支出が22億2千2百万円あったものの、短期借入金純増加額が105億1千2百万円あったことによるものです。
- 以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ50億7千6百万円増加し、517億3千9百万円（前年同四半期は512億9千7百万円）となりました。

社長対談

幸せに働ける 企業であるために

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科教授
まえの たかし
前野 隆司 先生



日本化薬株式会社
代表取締役社長
わくもと あつひろ
涌元 厚宏

幸福学研究の日本第一人者でいらっしゃる前野隆司教授にお話を伺います。「幸福学とは?」「人が幸せに生きるための4つの因子とは?」「幸せとイノベーションの関係とは?」……など、日本化薬にかかわるすべての人々の幸福度を向上させるためのヒントを教えてくださいました。

人が幸せに生きるために必要な 「4つの因子」とは何か?

涌元 本日は前野隆司先生に「幸福学」についてのお話を伺

います。日々仕事をしているとさまざまな課題や苦難に直面しますが、そういった状況の中ですべての社員が前向きに仕事に取り組んでいくには、どのような環境や取り組みが大切になるのかをお聞きしたいと思いました。

前野 本日はどうぞよろしくお願いいたします。

涌元 前野先生は「幸福学」という分野の専門家でいらっしゃいますが、まず始めに「幸福学とは何か?」について教えてくださいませんか。

前野 「幸福学」とは、幸せに生きるための考え方や行動を研究し実践に活かそうとするものですが、基本的には心理学がベースです。私はもともと工学の出身なので、「どういう人が幸せか？」という原理について明らかにするだけでなく、社会で人々が実際に幸せになれるモノづくりや仕組みづくりにも非常に関心がありました。社員の皆さんが幸せになれる働き方、世の中の人々が幸せになれる製品やサービスの生み出し方、暮らす人々が幸せになれるコミュニティや街の作り方……そういった「実社会での応用」もすべて含めて、私は「幸福学」と呼んでいます。

涌元 ありがとうございます。「幸せ」というのは目に見えないもので、人それぞれ感じ方が違うものだと思っていましたが、先生のご著書によれば「幸せを構成する4つの因子」が存在するそうですね。

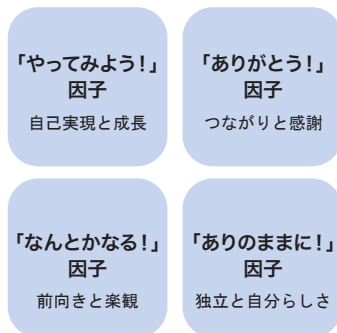
前野 「やってみよう！」因子、「ありがとう！」因子、「なんとかなる！」因子、「ありのままに！」因子の4つですね(図1参照)。研究の結果、人が幸せに生きるためにはこの4つの因子が必要だとわかってきました。この4つを強く感じながら日々仕事をしている人ほど「幸せに働いている状態」だと言えるんです。

幸せに働いている人は、不幸せに働いている人よりも3倍創造性が高いという研究結果があります。また、生産性は1.3倍高いと言われています。そして、幸せな人は利他的な人であることもわかっています。

涌元 幸せに働いているかどうかで、仕事の成果にも大きな違いがあるのですね。

図1

<幸せを構成する4つの因子>



企業ビジョン「KAYAKU spirit」には 幸せの4因子が盛り込まれている

前野 御社の企業ビジョン KAYAKU spirit「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」の「良心の結合」とはどういう意味ですか？

涌元 「人には生まれながらにして持っている『人の役に立ちたい』といった良き心がある。その心をお互いに結び合おう」という意味だと理解しています。入社して初めて聞いたときは「結合」という言葉に少し違和感を抱きました。「結集」という言葉ならすんなり入ってきたのですが、なぜ「結合」なんだろうと。

前野 素晴らしいですね。「結集」は集まっているだけですが、「結び合う」わけですから、より力強い熱意を感じます。

この KAYAKU spirit を拝見して、「幸せを構成する4つの因子」が盛り込まれた、とても素晴らしい企業ビジョンだと私は感じました。「良心の結合」という言葉は、つながりと感謝の「ありがとう！」因子に関連しています。また、「最良の製品」「不断の進歩」という言葉は、自己実現と成長の「やってみよう！」因子、前向きと楽観の「なんとかなる！」因子に関連しています。KAYAKU spirit を社員の皆さんと常に共有していれば、御社は今後も幸せな企業であり続けられると思います。

涌元 ありがとうございます。共有という点ではまだまだ道半ばのところはありますが、とても嬉しいお言葉です。

ちなみに海外拠点の社員に「幸せ」という概念を伝える際は、なんと英訳すると良いのでしょうか？

前野 私は、「心身共に良い在り方」というニュアンスを持つ「Well-Being」という英語をお薦めします。「幸せ」を「Happiness」と訳すと、特に欧米人は勘違いをしてしまう可能性があるから

です。Happiness は瞬間的な感情、つまり「ニコニコ笑顔で働こう」といったニュアンスで捉えられがちだからです。

涌元 「幸せ」の意味合いが、少し薄く感じられてしまうんですね。

前野 おっしゃるとおりです。仕事中って、常に笑顔なわけではないですよね。頑張って、頑張って、良い製品やサービスができたとき、その製品やサービスが世の中に受け入れられたときに初めて笑顔になれるわけですから。けれども、頑張っている途中段階が不幸なのかと言えば、決してそんなことはありませんよね。

ですから、Happiness よりも Well-Being のほうが「心身が喜びを感じながら仕事をしている良い状態」という意味を世界にうまく伝えられると思います。

社員が自然と良い方向を選択できる 生き物のような組織を目指したい

前野 御社には「全員 D 席で行こう」という行動指針もあるようですが、これはどういう意味ですか？



涌元 「D 席」はドライバー席の意味です。「人任せにせず、社員一人ひとりが自らハンドルを握って行こう」という想いが込められています。

私が目指したい会社組織は、生き物のような組織です。激しい環境の変化に絶えず適応しながら、生き残っていく……そのような強さやしぶとさ、柔軟さを兼ね備えた組織でありたい。社長や経営陣という中枢がコントロールするのではなく、社員同士がコミュニケーションしながら自然と良い方向を選択していく組織が理想です。

前野 中央集権型ではなく、全員がリーダーシップを発揮する自律分散型。まさに生物型の組織と言えますね。

涌元 「コーチング」や、「1on1（上司と部下の1対1面談）」にも関心を抱いています。上意下達の指示ではないコミュニケーションのとり方も根付かせたいと思っています。そういったコミュニケーションの重要性に気づいて、自主的に取り組み始めた部署も出てきています。

前野 コーチングや1on1 を社内に根付かせるためには、ある程度の体験やレッスンが必要です。けれども、本当に大事なことは「相手の話を最後まで真剣に聴く」という態度なので、それほど難しいことではありません。

社長の目指す組織は、コミュニケーションが双方向にならないわけですから、経営陣やマネジメント層の方々がコーチングや1on1 のスキルを学んでみると良いのではないのでしょうか。

涌元 ありがとうございます。やり方を考えてみたいと思います。

社内に閉じこもっているのではなく さまざまな人と広くつながっていく

前野 コーチングや1on1 の他にも、社長のお考えになる理想

の組織に近づくための方法がいくつかあると思います。

涌元 教えていただけますか。

前野 1つは、組織のトップである社長が「絶対にそういう組織を作るんだ」というメッセージを何度も繰り返し発信することです。さらに、管理職の方々がその主旨を理解し、社長のメッセージを浸透させることも重要です。

また、社員の皆さんが「自分の役職より1～2つ上の立場で考える」という習慣を身につけると大きな効果があります。「自分の上司だったら、この課題にどう取り組むか？」と考えられるようになると、自律性が飛躍的に高まります。

さらに、社員の皆さんの声、例えば新しい提案などが自律的に発信できる仕組みづくりも重要です。「会社の仕事を8割やったら、残りの2割で好きなことをしていいよ」という「20%ルール」を設けている企業がありますが、そのような自由度もあると良いのではないのでしょうか。

涌元 まさに先生のおっしゃるとおりですね。当社の研究者たちも、自社の研究室に閉じこもっているのではなく、外に出ていろいろな人たちと関わりながら、アイデアを自分のものにしていくなかで必要だと思っています。「営業のできる研究者が最強なのではないか？」と考えています。

前野 最近では、社外と有機的に連携することで革新的な製品やサービスを生み出す「オープンイノベーション」が非常に注目されていますから、そこから何か生まれるといいですよ。例えば、社外の人と一緒にやる勉強会、異業種交流研修とか、外の人とつながる仕組みを作るのも1つの手です。専門性を活かして外とつながることが「評価につながる」といった、ごほうび的な要素があると、促進の呼び水になると思います。

また、B to Bのビジネスモデルの企業の場合、一部のサービスや製品でB to Cに乗り出すことも1つの突破口になります。それまでB to Bに特化していた医療機器メーカーが、エンドユーザー向けの体温計の開発・販売に乗り出したのをきっかけに事業領域を大きく変化させた好例があります。顧客か

らの声をいろいろとヒアリングする中で「自社の技術がこんなところにも応用できるのでは？」とアイデアがどんどん広がっていったようです。

B to Bの先のC（お客様）について研究するのに、B to Cでキャリアを積んできたビジネスパーソンを中途採用して、「お客様研究所」のような新組織を社内に立ち上げるのも効果的です。社内の1割程度が何か新しいことに取り組んでいるだけで、本業に従事している9割の社員も「ウチの会社は何か新しいこと・面白いことをやっているな」と感じて社内が活気づくものです。

涌元 新卒の学生さんなどには、医療用医薬品を除いて素材や部品を扱っている私どものようなB to Bは何をやっている会社なのか少し伝わりづらい面もありますね。

前野 私自身は、B to Bは世の中をしっかり支え、創造性を豊かにして、世界を革新する夢を見られるビジネスモデルだと思っています。ただ、知識や経験をこれから積むという学生さんなどには、そうかもしれませんね。



幸せを感じながら仕事をしていると イノベーションが起こりやすくなる

涌元 先生は「幸せの条件とイノベーションを起こす条件」は一緒である」とおっしゃっていますよね。

前野 そうなんです。「やってみよう！」因子は、まさに「新規事業をやってみよう」のマインドです。「ありがとう！」因子は多様なつながりを意味していますから、いろいろなアイデアが出やすいということ。「なんとかなる！」因子は、諦めずにチャレンジする姿勢です。「ありのままに！」因子は自分らしさですから、個性や独自性につながっています。

つまり、「社員の皆さんの幸福度を高めていくと、イノベーションが生まれやすくなり、企業としての成長・発展につながる」ということなのです。よく「社員の幸福度を高めると、仕事の生産性は下がるのではないですか？」という質問を受けることがあります。これはまったくの誤解です。社員の幸福度と企業の成長は、反比例の関係ではなく、比例関係にあるのです。

涌元 そう考えてみると、会社とは人の幸せに関するさまざま



なものを提供している場なのですね。収入だけでなく、規則正しい生活リズム、人とのまじわり、やりがい……。

前野 たしかに！ そう考えると会社はありがたいものですよ。昔の会社は「社員は労働を提供し、その対価として会社は給料を支払う」という存在だったのですが、涌元社長がおっしゃるように、現在の会社は「社員が幸せになるための舞台を提供する」というところまで役割が広がっているのではないのでしょうか。会社という舞台のありがたみを社員の皆さん一人ひとりが感じられれば、それだけでもすごく幸せに仕事ができると思います。逆に「会社の人とはできるだけ関わりたくない」「他の会社に比べてウチの会社は良くない」と文句ばかりになれば不幸になってしまいます。

涌元 今はなくなってしまいましたが、社員旅行などもそうですね。私が新入社員の頃は、年に2回、半期が終わるごとにみんなで行っていました。当時は「なんで休みの日まで……」と思っていましたが、今思うと心のどこかで楽しみにしていたのかもしれない(笑)。

前野 社員旅行、ぜひ復活させてくださいよ！ 温泉に入って、みんなで話し合う……仕事時間とは違うアイデアが出そうじゃないですか。社員の幸福度の高さで有名なある食品会社では、毎年社員全員で旅行をしています。2年に1度は海外に行くそうです。チーム編成にも工夫を凝らしていて、部署ごとに固まるのではなく、シャッフルしているので、職場のいろいろな人と知り合う機会になっています。

涌元 中国の子会社は、まさに我々の若い頃の雰囲気に近い感じですね。社員旅行も、忘年会もしっかりやっている。部署ごとに出し物なども準備して……ああいう感じはたしかに社内が活気づきますね。

前野 「最近では価値観が多様化したから嫌がる人もいるよね」といったひとりで、いつの間にか中止になってしまった企業が多いですね。社員旅行でも飲み会でも、仕事時間とは違うと

ここでコミュニケーションをとる機会を皆で持てると良いですね。

人間関係、仕事、自分自身について ポジティブな棚卸しをしてみる

涌元 今回、先生とお話をさせていただいて、やらされ感を抱いたまま仕事をしている人と、前向きに仕事をしている人との違いは、ほんの少しの「気持ちの差」であることに気づきました。

前野 おっしゃるとおり、「幸せか、不幸か」の差は、結局のところ気の持ちようなんです。

対談の最後に「ネガティブに物を考える思考をポジティブに変えるレッスン」をお伝えしたいと思います。とても簡単です。「上司や部下の良いところ・好きなところ」「自分の仕事の良いところ・好きなところ」「自分自身の良いところ・好きなところ」を、それぞれ10個以上、紙に書き出してみるのです(図2参照)。

そうやって書き出してみると、「苦手で嫌いだと思っていたのに、けっこう自分のことを考えてくれている良い上司なんだな」とか、「今まであまり実感できなかったけれど、自分が携わっている仕事はかなり世の中の役に立っているんだな」と気づけます。人間関係でも、仕事でも、自分自身でも、本当は「良い面：悪い面」の比は「10：1」くらいのはずなんです。けれども、私たちはたくさんの良いところを当たり前として捉えてしまい、た

図2

<幸せをあらためて実感するポジティブレッスン>

以下について、それぞれ10個以上書き出してみましょう。

1「上司や部下の良いところ・好きなところ」

2「あなたの仕事の良いところ・好きなところ」

3「あなた自身の良いところ・好きなところ」

った1つの悪いところに目を向けてしまいます。良い会社であればあるほど、そのありがたみに気づけないものなのです。

ぜひ社員の皆さんでこのレッスンに取り組んで、ご自身の環境のポジティブな棚卸しをしてみてください。誰でもすぐでできますし、間違いなく全員の幸福度が上がりますから。

涌元 ありがとうございます。明日からでもすぐできることです。

本日はお越しくださり、本当にありがとうございました。

前野 今日の対談を通して「会社という組織は、社員の幸せを担う場でもあるのだ」とあらためて認識しました。こちらこそありがとうございました。



前野 隆司 まえの たかし

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授、慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長、工学博士

山口県出身。

東京工業大学大学院修了後、キヤノン株式会社入社。その後、カリフォルニア大学バークレー校客員研究員、ハーバード大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授などを歴任。イノベーションや幸福学をテーマに、理工学から社会学や哲学まで学問分野横断的に研究している。著書に、「幸せな職場の経営学」(小学館)、「システム×デザイン思考で世界を変える 慶應SDM「イノベーションのつくり方」」(日経BP社)など。



涌元 厚宏 わくもと あつひろ

日本化薬株式会社
代表取締役社長

千葉県出身。

1979年当社入社。医薬事業部門の営業に従事した後、ニューヨーク、デュッセルドルフに駐在し海外とのビジネスに従事。帰国後は、セーフティシステムズ事業の立ち上げから営業部門のリーダーとして事業を牽引、当社主力事業の一つに育てた。2019年6月25日、当社111代目の社長に就任。趣味は、ウォーキング、ランニング、登山、ゴルフなど。行動派社長。

TOPICS

産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム「PARASAFE®」を「Japan Drone 2020」で紹介しました

9月29,30日に幕張メッセで開催された「Japan Drone 2020」に出展し、産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム「PARASAFE®」を紹介しました。

「PARASAFE®」は、ドローンが不測の事態で落下した際、極少量の火薬を用いて瞬時にパラシュートを射出展開し、安全に降下させるパラシュートシステムです。

火薬のパイロ（燃焼を制御する）技術は日本化薬の基盤技術の一つであり、当社はその技術を駆使してすでに、エアバッグ用インフレーターやシートベルトプリテンショナー用ガス発生装置などの自動車安全部品をグローバルに展開しています。これらの技術やノウハウを生かして開発した「PARASAFE®」により、ドローン飛行時の危険や損失を最小限に抑えることで、世界的需要増が見込まれるドローンの普及を支援していきます。

「PARASAFE®」は、2021年末に量産を開始する予定です。ドローン用安全装置を新規事業の一つとして世界に展開していきます。



鹿島工場が「令和2年安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞

8月、鹿島工場は、令和2年安全功労者内閣総理大臣表彰^{※1}を受賞しました。

鹿島工場は農園芸用の殺虫剤や、土壌中から病原菌、線虫などを取り除く土壌くん蒸剤などを製造しています。

製造過程で各種危険物を取り扱っており、労働者の健康確保対策や爆発・災害リスクの低減に努めるとともに、物流事故等の緊急時対応を想定した計画的な訓練実施などに努めてきました。その結果、昭和57年12月の操業開始以降37年にわたり無災害を継続しているなど、労働災害の防止および産業安全水準の向上に貢献したことが評価され、本受賞に至りました。

日本化薬グループは、レスポンスブル・ケア^{※2}精神のもと、環境保全、安全衛生の確保および品質保証の維持・向上に努めるため、「環境・健康・安全と品質に関する宣言」を制定し、組織的な活動を行っています。今後も、労働安全衛生活動に積極的に取り組んでまいります。



※1 安全功労者内閣総理大臣表彰は、「『国民安全の日』の創設について」（昭和35年5月6日閣議了解）の趣旨を踏まえ、交通安全や火災予防など、国民の安全の確保について顕著な功績をあげた方々を表彰するものです。

※2 レスポンスブル・ケア：化学物質を製造または扱う企業が化学物質の開発や生産、販売、消費から廃棄に至るまでのすべてのプロセスで自ら積極的に環境・安全・健康面に配慮した対策を行う活動です。

主要な事業紹介

機能化学品事業

10月1日より「ポラテクノ事業部」を加え、4事業部体制をスタートさせました

機能化学品事業は、4事業部で構成されています。機能性材料事業部では、5G対応のデバイス等向けのエポキシ樹脂や新規マレイミド樹脂、そして紫外線硬化型樹脂などの機能性樹脂に加え、今年4月より新たにLCD・半導体領域のクリーナー事業を開始しました。色素材料事業部では、インクジェットプリンター用インク、繊維用染料、感熱顕色剤、車載・センサー用機能性色素などを、触媒事業部では、アクリル酸・メタクリル酸製造用触媒を扱っています。そして新たに加わったポラテクノ事業部では、車載ディスプレイ用、アイウェア用、デジタルサイネージ用などの特徴ある偏光板やX線分析装置用部材を手がけております。

このように樹脂技術・色素技術・触媒技術・光学加工技術を応用した当社グループの製品は、「高度化する5Gに対応した情報・通信、デジタル印刷、省エネルギー・省資源、センシング」分野を中心に様々な用途で幅広く使用されています。

今後も加速する市場の変化に対応できる強靱な研究開発力で、お客様のニーズに応える特徴のある機能化学品をタイムリーに提供することで「超スマート社会」と「SDGs」の実現へ貢献していきます。

医薬事業

がん関連事業を中心に、新薬からジェネリックそしてバイオシミラーまで、医療現場に製品を提供しています

当社の抗がん薬の歴史は、1969年の「ブレオ[®]」の発売に始まり、現在、抗がん薬およびがん関連薬剤のラインアップは、ジェネリック薬も含めて44種類にのぼっています（2020年9月30日現在）。がん関連製品のラインアップ数は国内製薬メーカー最多で、がん領域に関する信頼性の高い情報とともに医療機関に提供しています。

また、ナノテクノロジー技術を用いた抗がん薬内包高分子ミセルの開発を進めるとともに、バイオ医薬品・バイオシミラーの開発も手掛け、2019年11月には、バイオ新薬「ポートラザ[®]」を発売いたしました。医薬事業は、「得意技術によるイノベーションの推進、高品質な医薬品の安定供給、情報提供により、医療の向上を通じて社会に貢献する」ことを目指しています。

セイフティシステムズ事業

自動車安全装置の部品であるインフレーター、マイクロガスジェネレーターなどを製造しています

セイフティシステムズ事業は、姫路工場での雷管製造と厚狹工場での火薬製造の長い歴史から、点火・起爆装置および火薬燃焼に関する卓越した技術を持っています。これらの技術を応用展開して、エアバッグを膨らませるためのガス発生装置「インフレーター」と、衝突時などにシートベルトを巻き取り、また歩行者との衝突時に歩行者の頭部保護のためにボンネットを跳ね上げるなど、様々な用途に展開されている「マイクロガスジェネレーター」、そしてそれらの点火装置「スクイブ」を独自に開発してきました。

現在、グローバルに事業を展開し、日本、チェコ、中国、メキシコ、マレーシアの5つの生産拠点から、世界中の人々の安全に貢献しています。

その他

アグロ事業および不動産事業を展開しています

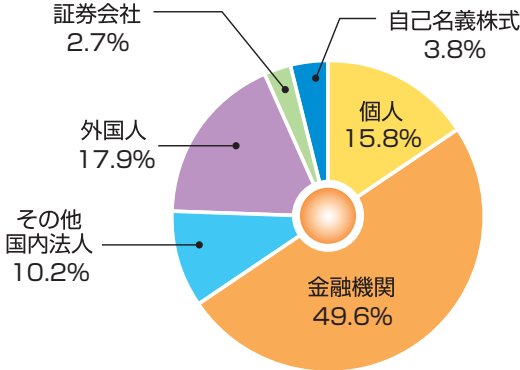
アグロ事業では、食の安定供給に欠かせない農薬を取り扱っています。農業用途の殺虫剤、除草剤、殺菌剤や土壌くん蒸剤のほか、ゴキブリなど衛生害虫用の殺虫剤などを取り扱っています。

不動産事業では、保有する資産を有効活用して安定した収益を上げています。

株式の状況 (2020年9月30日現在)

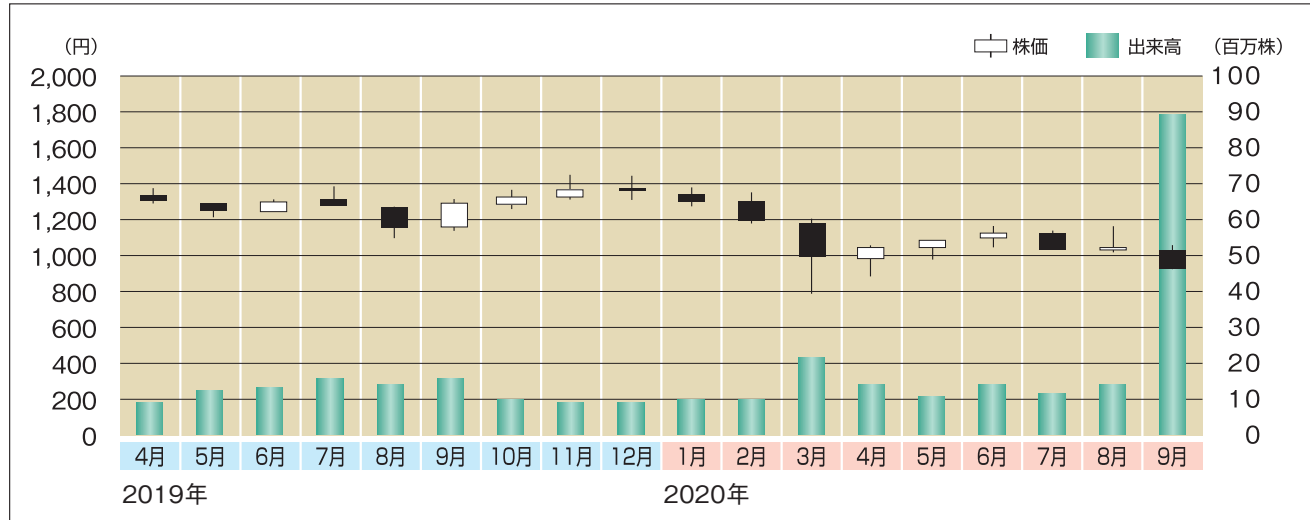
- 発行可能株式総数 700,000,000株
- 発行済株式の総数 177,503,570株
- 株主数 15,069名 (前期末比1,410名増)

■所有者別株式分布状況 (株式数比率)



(注) 株式数比率は小数点第2位を四捨五入しており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

■株価・売買高の推移



■大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	27,118	15.88
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	15,688	9.19
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリシルチェスターインターナショナル インベスターズインターナショナルバリューエクイティトラスト	6,989	4.09
カヤベスタークラブ	5,641	3.30
全国共済農業協同組合連合会	5,150	3.02
株式会社三菱UFJ銀行	5,090	2.98
株式会社常陽銀行	5,089	2.98
明治安田生命保険相互会社	4,843	2.84
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユーエス タックスエグゼンプテッドペンションファンズ	3,985	2.33
バンクオブニューヨーク・ジェシー・エム・クライアント・アカウント ジェイビー・アール・ディ・アイ・エス・ジー・エフ・イー・エイシー	3,442	2.02

(注) 当社は、自己株式 6,704,333 株を保有しておりますが、上述大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
	(その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)
公告方法	電子公告(公告掲載URL https://www.nipponkayaku.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	4272
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(特別口座の口座管理機関)	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◎住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

◎未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

◎「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

◎特別口座に記録されている株式について

特別口座に記録されている株式は、そのままでは市場で売買できません。様々な手続を円滑に行うためにも、証券会社等の口座へ振り替えられることをお勧めいたします。

証券会社等の口座への振替手続きの詳細については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

『復興特別所得税』についてのご案内(このご案内は、2020年9月末時点での情報をもとに作成しております。)

2013年1月1日より『東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)』が施行され、**2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)に生じる所得には、その所得税額の2.1%が『復興特別所得税』として課税されることとなりました。**株式等の配当金等も『復興特別所得税』の対象となり、源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税が併せて徴収されますので、ご案内申しあげます。

なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照願います。

配当等の支払開始日		2020年 2037年	2038年～
上場株式等の 配当等に係る 税率	所得税	15%	15%
	復興特別所得税	0.315%	—
	住民税	5%	5%
合 計		20.315%	20%

- ・個人の株主様で発行済株式総数の3%以上の株式等をご所有される場合の税率は、左表の内容と異なります。
- ・配当等をお受け取りになる方が、法人の場合には住民税は課税されません。
- ・詳細につきましては、所轄の税務署にお問い合わせください。

Global "sukima" ideas



表紙「冬と春の同居」
山口 忍さん
日本化薬㈱上越工場管理部

株主通信

2020年11月発行
編集・発行 日本化薬株式会社 法務総務部 総務担当
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
TEL 03-6731-5918
URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>